（別紙4（2））

事業所名：グループホームつなぎ

作成日：　令和2年　4月　30日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	48 49	本人の意向ペースに沿って過ごして頂けるよう心がけて対応、配慮しているが、良くも悪くものんびりしており刺激がは少ないように感じる	役割、楽しみごと、身体を動かす機会を増やす。屋外に出る機会を増やす。気分転換を図る	家事作業等の促し。生活歴等の再度確認。レクレーション、体操、カラオケ、散歩、行事等の増加。生活リハビリの向上。	12ヶ月
2	33	重度化や終末期に向けた備えとして、看取りの実績も積んだが主治医等医療機関の体制によっても対応が異なる状況もある	利用者ごとに再度、家族も含めて方針を共有する	本人、家族の意向を再度確認し方向性をあらかじめ固めておく。 意向に沿った医療機関等の検討調整を図る。 関連した研修等も実施する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。